

觀世流改訂儒本

內十九

白鬚
盛之
佛原
善部島
小壇



明治四十三年四月三十日印刷
明治四十三年五月五日發行

訂正者、檢印
十千毛、八偽版也

東京市麹町區中六番町二十九番地

訂正兼
發行者

丸

岡

桂

東京市下谷區二長町壹番地

印刷者

塚原錦三郎

東京市下谷區二長町壹番地

印刷所

凸版印刷株式會社



東京市麹町區中六番町廿九番地

發行所

觀古流改訂本刊行會

電話番町二五四番

協
能

白^{シラ}
長^{ビロ}子^ゴ

三月
シテ
前ツレ
ワキ
白髮明神前漁翁
勅使夫

早稲^{ハヤネ} 居^イと神^{カミ}の^ミ看^ミま^ミぐ^ミは^ミく^ミ作^スまる^ス
 國^{クニ}ぞ^ゾ之^ノま^マ ^ミそ^ソも^モく^クこ^コれ^レ當^ト今^{イマ}
 又^{マタ}は^ハな^ナら^ラほ^ホ下^カあ^アり^リ。扱^{サツ}も^モ江^エ州^{シュ}白^{ハク}髮^{ハツ}
 の^ノ神^{カミ}の^ミ靈^{レイ}神^{カミ}の^ミて^テ出^デ度^{タク}い^イ。若^{ニホ}汝^ニ終^{ハル}不^ス
 思^シ儀^ギは^ハ靈^{レイ}夢^ムの^ミ出^デ者^{モノ}ま^マあ^アす^ス。
 より^{ヨリ}。急^{イサ}ぎ^ギを^ヲい^イま^マに^ニ信^シず^ズせ^セる^ルの^ノ宣^{ノリ}命^{メイ}と

彼^{コノ}り。今^{イマ}白^{ハク}髪^{ハツ}の^ノ羽^ハ钟^{ショウ}は。勅^{ツク}使^シは。
年^{ネン}信^{シン}は。り^リの^ノ九^ク重^{ジュウ}の^ノ空^{カラ}も。長^{チヤウ}閑^{カン}は。
ま^マ春^{シュン}は。色^{シキ}く^ク霞^{カサ}も。行^{ユク}く^ク入^{イル}花^{ハナ}園^{エン}れ。
表^{ヒョウ}賀^カの^ノ心^{シン}越^{ユキ}も。名^ナも。こ^コて。真^{マコト}野^ノの^ノ入^{イル}。
江^エの^ノ道^{ミチ}も。さ^サる^ル鳥^{トリ}の^ノ海^{カイ}に。さ^サえ^エち^チ入^{イル}。
ま^マち^チも。ち^チは。も。白^{ハク}髪^{ハツ}の^ノ宮^{ミヤ}原^{ハラ}は。早^{サキ}く。着^{ツク}。
ま^マよ^ヨけ^ケり^リく^ク。真^{マコト}一^{イチ}声^{セイ}。鈴^{スズ}の^ノ音^ネも。い^イつ^ツま^マで^デ。

隙もは向ふ月け暮れん
ある海未だ満りぬたるにせり
風歸帆を送る萬里に
渺ろて水光平りあり
くといふ朝の雨面白く
春の空霞け衣はとらびて
ぬよほく花の嵐も匂ふ日影うち

下

目もい海まのいもで春そ長閑
うりけれや。花保ひは女のお風次
まほりく。薄ぼく毎日見
鳥の海も宝と震えあつて
まづ雁子越路のいまでも眺め
よづく。氣色しうあく！
なる羽。汝い汝浦の者り。さんが

海^{ギョ}の^フ魚^フもてゐる。朝^{アサ}も一^{ヒト}沖^{ナミ}へ出^デ
 て釣^{ツリ}を垂^タれてゐる。やがて魚^{イサナ}も目^メを暮^ク
 れだ。我^{ワレ}あなごといふ魚^{イサナ}はサケとよく似^ニ
 てる。あつても都^{ミヤコ}をへはなれぬといふ。
 江戸^{エド}も、江戸^{エド}といふ魚^{イサナ}もあつてゐる。
 といふ。當^{トウ}今^{イマ}は又^{マタ}春^{ハル}の江戸^{エド}もあつてゐる。若^カ
 沖^{ナミ}も不思議^{ミセギ}のは、雲^{クモ}夢^{ユメ}のは、昔^{ムカシ}の

まゝなり。勅使の来り申しに、
りおなも存し、てなふは、
ひねり、^{上三}の威光の、
うたけ、^{上三}も海、^アの、
くある、^{上三}代、^スの海、^ラの、
を頼む、^{上三}あり、^{早カレ}け、^{上三}も、
ま、^{上三}を、^{上三}に、^{上三}あ、^{上三}も、^{上三}め、^{上三}み

道の後貴教流布の地なる可
ようあるを以て洪南贍郭州と
晉飛アチ行トして街傍りけるは漢
とある大海の上一切衆生悉有
佛性如來常住無有衰易れば
の教一域の蘆は漲り固まるて一
つれ島とある今れ大官権現の波

止土濃ありフツリ其後人壽百歳の時。シゲユト

悉達と生れ給ひて十平れ春シツダ

の頂頭水面西左眼目交むの皮とトウダウ

消え給ふ。されども佛の常なき滅ヤス

法界の妙所あれども昔。廬の塔のホウ

鳴とあり。中つ国と云はれどもナリ

時。鷹草トウ草不念れ尊の古代なトウ

れ^トも^中佛^{フツ}法^{ホフ}の^ニ名^ナ字^ジを^ヲ人^ニ知^チる^{コト}ま^コ愛^ミま^コ

は^ニ敵^{テキ}と^{シテ}林^{リン}檣^{ジョウ}さ^スは^ニや^ヤ未^ミ智^チの^ノ海^{カイ}の^ノ

ほ^ニろ^ニる^{コト}な^ニ釣^ツを^ヲ垂^チる^{コト}老^{ロウ}弱^{ジャク}あり^ニ釋^{シヤク}

尊^{ソン}ある^ニは^ニ向^{コウ}て^ニ弱^{ジャク}も^ニは^ニ地^チの^ノ主^{シュ}と^{シテ}

ら^ニも^ニ洗^{セン}と^{シテ}あ^ニれ^ニは^ニ塵^{ジン}入^ニる^{コト}邪^{ジャ}法^{ホフ}結^{ケツ}界^{カイ}

の^ノ地^チと^{シテ}あ^ニま^ニべ^ニる^{コト}宣^{セン}へ^ニる^{コト}弱^{ジャク}答^{トウ}へ^ニて^ニ

申^{モン}ま^ニる^{コト}や^ヤあ^ニれ^ニる^{コト}事^ジと^{シテ}は^ニ歳^{サイ}の^ノ作^{サク}より^ニキ

汝もいふに、
 原よりいふも、
 下中和ヲツツ
 口口池也。結界とあるなり。中
 ち、
 まる所、
 中ニホヲミ
 ち、
 ち、
 んと、
 一、
 猫璃也。專一の至薬師。忽然と出

て。法ほひて。善よき。うすち。あなら。釋しやく尊そんの。地ち
と。佛ぶつ法ほふと。弘こうめ。法ほふを。んん事じよ。あなれ。人ひと
と。青せい二に方ほう萬まんの。昔むかしより。法ほふ可かれ。ままた。れ
と。毛もう翁うい。ままだ。あなれ。や。知しる。ままた。可かれ。ぞ
と。法ほふと。惜おしし。又また申まうす。ままた。も。や。開かい闢びやく
し。法ほふと。あなれ。も。法ほふと。あなれ。ままた。あなれ。と。共とも
と。後あと五ご百ひやく歲さいの。佛ぶつ法ほふと。守まもる。べべし。と。共とも

固く秘蔵し、カミヤ一海にひて、ハク二佛、フツ東西よま
り、サニ其時の翁も、サニ今れ、サニ白髮の翁
こそ、サニあきあきとあはれぬ
て、タエめある神、シニ秘と語る翁の、ヒ其名い
ふ、シテあはれ、シテ今に、シテ行きつゝ、シテだ
ま、シテ其く、シテも、シテ釣と垂れ、シテ翁なる
が、シテ勅使を、シテ射ぬ、シテあはれ、シテさうして、シテ作令と